

臨地実習 自己評価表

公益社団法人 日本歯科衛生士会

目 次

本冊子の使い方	1
自己評価表の使い方	2
臨地実習自己評価表	4
ふりかえりシート	9

本冊子の使い方

歯科衛生士学生は、それまで学習した歯科衛生業務を歯科診療の場を通して実践に結び付け、その能力を深め、養う必要があります。そのため、臨地実習は歯科衛生士学生にとって極めて重要で不可欠な過程です。歯科診療所における実習では、自らの目標を持ち、その目標に到達するために積み重ねて実習を行うことが大切です。

「臨地実習 自己評価表」は、学生自身が成長の過程を客観的に見つめなおし、自己点検を行い、自ら向上する態度を身につけ、学びを深めるために作成しました。さらに、「臨地実習 自己評価表」を実習指導担当歯科衛生士が確認することで、学生個々の到達度に合わせた指導が可能となります。

「臨地実習 自己評価表」は、臨地実習で修得する基本的な項目を挙げ、実習前後で自己評価ができるようになっています。

臨地実習の充実と、歯科衛生士学生の歯科衛生業務修得のために活用していただきたいと思っています。

自己評価表の使い方

自己評価項目に対する自己評価を数字で記入します。

2年生、3年生、4年生と各学年で自己評価をするため、到達度がわかりやすくなります。

臨地実習 自己評価表

氏名 _____

(上段) 実習前の自己評価の数値を記入する (下段) 実習後の自己評価の数値を記入する
 自己評価：1：できない 2：少しできる 3：ほぼできる 4：できる

		自己評価項目	2年生	3年生	4年生
マナー	1	常に清潔感のある身だしなみができる	●		
	2	対象者に合わせた言葉使いができる	●		
取り組み	3	積極的な態度で実習に取り組むことができる			
	4	疑問や問題を早期に解決する工夫ができる			
	5	目的を明確にもって実習に臨むことができる			
歯科予防処置	32	う蝕予防と歯周疾患予防の基礎を理解できる			
	33	対象者の口腔（歯・歯肉・歯の付着物・沈着物）状態を把握し、記録ができる			
	34	予防処置に必要な器材および感染対策・術式・注意事項を理解し、実践できる			
	35	偶発事故の予防などに配慮ができる			
	36	予防処置の計画および歯科衛生業務記録を記載できる			
		合計			

上段は、歯科診療所
実習前の自己評価を
記入します

下段は、歯科診療所
実習後の自己評価を
記入します

上段の数字の合計をします

下段の数字の合計をします

2年生より3・4年生の数字が
大きくなるのが理想的です

【2年生 臨地実習前の自己評価を踏まえた自己課題】
【2年生 臨地実習終了後の振り返り】
【3年生 臨地実習前の自己評価を踏まえた自己課題】
【3年生 臨地実習終了後の振り返り】
【4年生 臨地実習前の自己評価を踏まえた自己課題】
【4年生 臨地実習終了後の振り返り】
【自己成長のあしあと】
【自己成長を振り返るキーワード5つ】
【実習指導者による総括コメント】

2, 3, 4年すべての
実習終了後に記入します

3・4年生の実習指導
担当者に記入して
いただきます

臨地実習 自己評価表

氏名 _____

(上段) 実習前の自己評価の数値を記入する (下段) 実習後の自己評価の数値を記入する
 自己評価：1：できない 2：少しできる 3：ほぼできる 4：できる

		自 己 評 価 項 目	2 年 生	3 年 生	4 年 生
マ ナ ー	1	常に清潔感のある身だしなみができる			
	2	対象者に合わせた言葉使いができる			
取 り 組 み	3	積極的な態度で実習に取り組むことができる			
	4	疑問や問題を早期に解決する工夫ができる			
	5	目的を明確にもって実習に臨むことができる			
協 調 性	6	スタッフや患者に明瞭な挨拶・返事ができる			
	7	チームワークを図ることができる			
	8	患者やスタッフとコミュニケーションを図ることができる			
知 識	9	口腔内の情報から、必要な治療方法・術式を考えることができる			
	10	全身疾患を有する患者の診療時の注意を理解している			
	11	日常的に行われる診療の流れや手順を理解できている			
	12	理解した内容を実習ノートに記録することができる			
	13	インシデントの意味を理解している			

		自己評価項目	2年生	3年生	4年生
歯科診療補助	14	対象者の健康状態・全身疾患に配慮した誘導ができる			
	15	歯科材料の基礎知識・取り扱いを理解している			
	16	診療内容に応じた器材の準備（トレーセッティング）ができる			
	17	チェアサイドワーク（共同動作）を行うことができる			
	18	手指や器具の消毒・滅菌について理解している			
	19	医療安全管理について理解している			
	20	特別に配慮が必要な患者（小児・高齢者・障がいのある方など）への対応を理解している			
歯科保健指導	21	対象者の日常生活自立度（ADL）について把握できる			
	22	全身疾患を有する方への注意を理解している			
	23	歯・口腔の疾患がわかる			
	24	配慮を要する方（妊産婦、全身疾患患者、障がい者、要介護者など）への歯科保健指導の内容を理解している			
	25	症例（う蝕、歯周疾患、抜歯など外科処置後）に応じた歯科保健指導を理解している			
	26	口腔清掃用具や歯磨剤などの特徴や使用法を理解している			
	27	口腔清掃状態の評価がわかる			
	28	ライフステージに応じた食生活指導の内容を理解している			
	29	摂食嚥下状態を把握できる			
	30	口腔機能訓練を理解している			
	31	障がい者（児）、要介護者への食事介助を理解している			

		自己評価項目	2年生	3年生	4年生
歯科予防処置	32	う蝕予防と歯周疾患予防の基礎を理解できる			
	33	対象者の口腔（歯・歯肉・歯の付着物・沈着物）状態を把握し、記録ができる			
	34	予防処置に必要な器材および感染対策・術式・注意事項を理解し、実践できる			
	35	偶発事故の予防などに配慮ができる			
	36	予防処置の計画および歯科衛生業務記録を記載できる			
		合計			

【2年生 臨地実習前の自己評価を踏まえた自己課題】

【2年生 臨地実習終了後の振り返り】

【3年生 臨地実習前の自己評価を踏まえた自己課題】

【3年生 臨地実習終了後の振り返り】

【4年生 臨地実習前の自己評価を踏まえた自己課題】

【4年生 臨地実習終了後の振り返り】

【自己成長のあしあと】

【自己成長を振り返るキーワード5つ】

【実習指導者による総括コメント】

ふりかえりシート

年 月 日

1.教育目標のうち達成できたもの	2.改善すべきと考えたもの
3.今の気持ち、感情	4.今後学びたい内容

教育養成委員会

井出 桃	委 員
佐塚真理子	委 員
島谷 和恵	委 員
菅野 亜紀	委 員
福田 弘美	委 員
関口 洋子	理 事
上田 和美	副 会 長

「臨地実習 自己評価表」
令和2年 4月1日 発行
公益社団法人 日本歯科衛生士会
〒169-0072
東京都新宿区大久保 2-11-19
TEL : 03-3209-8020
FAX : 03-3209-8023